



株式会社レスタールディングス



Restar Vision

中間株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日

証券コード：3156

ご挨拶

当社は2024年4月以降の新たな事業体制に向け経営基盤の強化に取り組んでいます。

当社を存続会社とし、株式会社レスターエレクトロニクス、株式会社レスターコミュニケーションズ、株式会社バイテックエネスタの3社を吸収合併することを2023年8月に決議しました。今後、経営資源の最適配分を行い収益構造の変革を推進し、中長期的なグループの強化を図り事業拡大に向けて取り組んでまいります。

そのような中で、多様化する顧客ニーズに応える事業基盤の強化やグローバル展開を加速するため、世界有数の売上規模を誇る半導体商社WPG Holdings Limited（本社：台湾台北市）の子会社であったAITジャパン株式会社を2023年7月に連結子会社としました。加えて、ラインカードの拡充並びに顧客基盤の一層の強化を目的とし、都築電気株式会社傘下の都築エンベッドソリューションズ株式会社、都築電産貿易(上海)有限公司、都築電産香港有限公司、およびTSUZUKI DENSAN SINGAPORE PTE.LTD.の4社を完全子会社とする株式譲渡契約を2023年9月に都築電気株式会社と締結しました。新たに加わるそれぞれの強みを活かし、当社グループとのシナジーを発揮することで更なる成長を目指してまいります。

お取引先の皆様とともに課題解決に取り組むことによって、ステークホルダーの皆様との信頼関係をさらに高め、持続可能な社会の発展に努めてまいります。引き続き当社へのご理解を賜りますようよろしくご鞭撻のほどお願い申し上げます。

株式会社レスターホールディングス 代表取締役一同

経営理念

Mission
ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

Vision
ビジョン

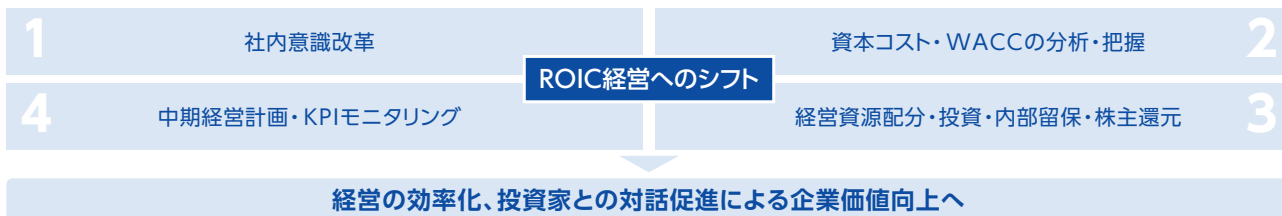
あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」
を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

Values
バリュー

多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します

重点施策としてROIC経営へのシフトに取り組む

- 事業ごとのROICツリーのKPIなどを設定し、2023年度下期にモニタリングを試行
- 投資と収益の関係を明確化することで、選択と集中につなげる



2023年度各事業重点施策

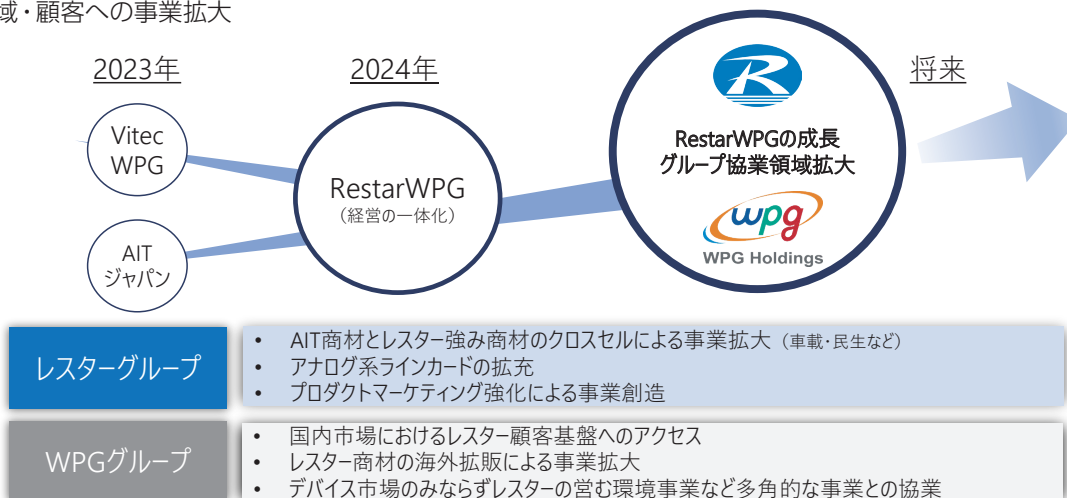
	2023年度重点施策	上期までの進捗と今後の見通し
デバイス	<ul style="list-style-type: none"> EV・IoT・AI関連分野の事業拡大 グローバル展開に向けた取り組み加速 	<ul style="list-style-type: none"> 車載の電装化や新車販売動向により堅調に推移 WPGの子会社AITジャパンを連結子会社化してグローバル展開を加速
EMS	<ul style="list-style-type: none"> 生産ラインの合理化／選択と集中 車載向けなど新規事業の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 生産ラインの刷新による生産効率の改善 車載向けディスプレイの新規受注
調達	<ul style="list-style-type: none"> SCMを基盤とした新たなサービス・付加価値提供による事業拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 新規商材の取り扱いや新規顧客の獲得などで売上は堅調に推移
電子機器	<ul style="list-style-type: none"> 顧客ニーズの先取りと付加価値創出によるシェアアップ 	<ul style="list-style-type: none"> イベント需要の回復に伴う映像音響機器やオフィスの移転等によるICT関連設備の需要増加
システム機器	<ul style="list-style-type: none"> 製品モデルミックスの改善による収益性向上 	<ul style="list-style-type: none"> 主力の決済端末などの拡販によって売上拡大
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー事業の継続的拡大 新たな事業領域の具現化 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾発電事業等の着実な進展 国内PPA（電力販売契約）事業の拡大
新電力	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消型の電力供給事業の推進・拡大 	<ul style="list-style-type: none"> カーボンフリー化によるエネルギーの地産地消の仕組みづくりへの貢献
植物工場	<ul style="list-style-type: none"> 生産効率アップと利益を伴う売上上の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 新製品の生産効率改善と安定供給に向けた取り組み

2023年度公表値

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
5,000億円	100億円	70億円	70億円

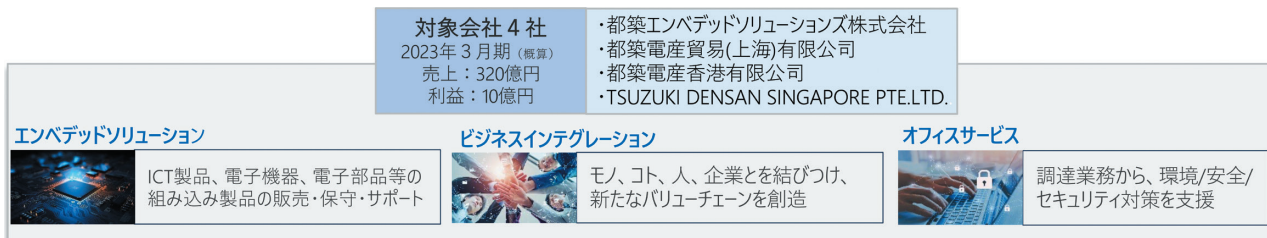
世界トップクラスの半導体商社WPGグループとの連携強化

新たな地域・顧客への事業拡大



都築電気グループ傘下の4社の株式譲渡契約を都築電気と締結

- ・ FA・産機・車載機器の顧客基盤並びに、脱炭素・省エネ関連製品向けのパワー半導体を始め、GPU（画像処理プロセッサ）、メモリ等の幅広い商材と関連サービスの拡大
- ・ ラインカードの一層の充実によるクロスセルのバリエーション拡大と顧客基盤の強化



ラインカード（商材）・顧客基盤の更なる強化と付加価値創出による事業拡大

CEATEC展示 (アジア最大級のエレクトロニクス国際展示会)

当社ミッション
情報と技術で、新しい価値、サービスを
創造・提供し、社会の発展に貢献します

CEATECの展示内容

内閣官房HPより引用※

「デジタル田園都市構想」

デジタルのチカラを活用した
地方の社会課題解決
地方に仕事をつくる／人の流れをつくる／魅力的な地域をつくる

構想を支えるハード・ソフトの
デジタル基盤整備

当社経営理念のミッションとデジタル田園都市構想のコンセプトが合致しております。当社グループおよびパートナー企業との共創を軸としたデジタル田園都市構想を支える「データ連携」や「ゼロカーボン」に関するソリューションの展示を行いました。

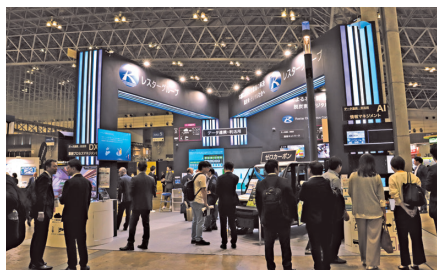
ブース内には、電気自動車 (EV) ・対話型キャラクターエージェント・AI 画像認識・ローカル5G・LPWA (低消費電力広域ネットワーク) を展示し、リアルタイムなデータ収集・データ連携基盤への接続を実装しました。さらに会場外 (熊本県) に設置のセンサーとデータ連携を行うことで、自治体が抱える社会課題に対するデータ利活用・データ収集システムのより具体的なソリューションを訴求しました。

～CEATECトークステージ～

CEATEC開催中2回にわたり、当社代表取締役副社長COO山口がトークステージに登壇しました。北海道更別村の西山村長、株式会社EVモーターズ・ジャパンの佐藤社長とともに更別村Society 5.0とEVを活用したゼロカーボン・ソリューションの未来像についてそれぞれの強みや役割をもとに紹介しました。

また、株式会社愛媛CATVの白石専務とはデータ連携による社会実装が創出する付加価値や先駆的な試みについてそれぞれの考えを披露しました。いずれのトークステージも満席となるなど来場者から熱い関心が寄せられました。

※詳細はデジタル田園都市構想HPを参照：<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/about/index.html>



当社ブースでの様子



トークステージ満席の様子



TOPICS 3 ～サステナビリティへの取り組み～

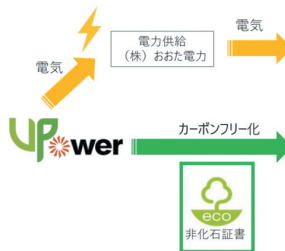
■ バイテックベジタブルファクトリー、フードロス削減への取り組み

- 2023年11月より道の駅おおゆ（秋田県鹿角市）にて、規格外品としていた生産野菜の販売開始、限りある資源の利活用に取り組む
- 季節を問わず安全・安心な工場野菜を地域の方に提供



■ V-Power、非化石証書で使用電気をカーボンフリー化

- V-Powerはプロバスケットボールの試合において、使用する電気に非化石証書を用いてカーボンフリー化を2023年10月より開始
- 実質再生可能エネルギー100%とし、パートナー企業や自治体と一体となって脱炭素の取り組みを加速し社会の発展を目指す



TOPICS 4 ～グループシナジー～

グループオフィスを集約（東京、大阪）

2024年4月以降の新たな事業体制に備え、首都圏および大阪のグループ拠点を集約

グループ全体が集結することで
人材の交流と情報の有効活用を通じて
新たな価値を創出

コミュニケーション活性化

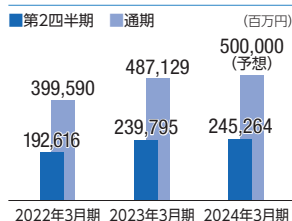
グループシナジーの創出を加速



業績ハイライト (2024年3月期第2四半期累計)

- ✓ **売上高** 調達、環境エネルギー、電子機器事業が堅調に推移し増収
- ✓ **営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益** 営業利益は対前年比の為替動向の違いに加え、特殊要因などにより減益
- ✓ **半導体及び電子部品事業** デバイス事業は車載・産業機器向けの売上伸長があったものの、サーバーやPC向けなどの販売減少により減収。EMS事業は主力製品の低迷により減収。減収並びに為替影響等によりセグメント利益は減益
- ✓ **調達事業** 車載向けが好調に推移したことに加えて販路の拡大もあり増収・増益
- ✓ **電子機器事業** 電子機器事業は医療向けの伸長や教育関連の需要増加などにより増収。システム機器事業は海外製決済端末などの売上増加により特需剥落を補うも微減収。プロダクトミックスの良化により損益改善
- ✓ **環境エネルギー事業** エネルギー事業は海外太陽光発電や国内PPAの拡大により堅調に推移。新電力事業は官需向けを中心に増収。植物工場業は従来品種の収量拡大に努めたもののやや減収。セグメント利益は新電力事業の保有電源による寄与と堅調なエネルギー事業さらには植物工場事業の収益改善により大幅な増益

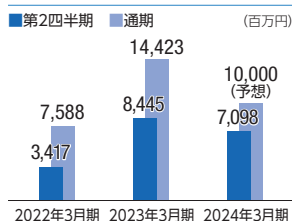
売上高



2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

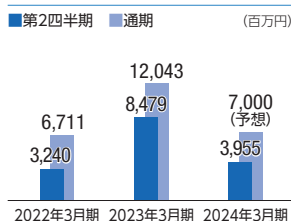
※全社の合計値はセグメント間調整を含んでおります。

営業利益



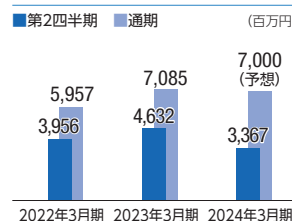
2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

経常利益



2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

親会社株主に帰属する当期純利益



2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

セグメント別業績ハイライト

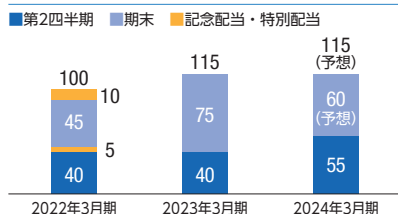
(百万円)

	2023年3月期 第2四半期(累計)		2024年3月期 第2四半期(累計)			
	売上高	セグメント利益	売上高	増減率	セグメント利益	増減率
半導体及び電子部品事業	177,199	7,808	165,279	6.7% ↓	4,320	44.7% ↓
調達事業	45,380	1,532	61,341	35.2% ↑	1,642	7.2% ↑
電子機器事業	9,707	△166	10,160	4.7% ↑	△105	—
環境エネルギー事業	7,506	△498	8,483	13.0% ↑	2,348	—
連結業績	239,795	8,445	245,264	2.3% ↑	7,098	16.0% ↓

※前期比の↑は増加、↓は減少の意味です。

1株当たり配当金

(円)



2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

株主還元方針

連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

会社情報

会社概要

(2023年10月1日現在)

社名	株式会社レスターホールディングス ※2024年4月1日から株式会社レスターへ商号変更いたします。
本社所在地	東京都港区港南二丁目10番9号 レスタービルディング
営業開始日	2019年4月1日
資本金	43億83百万円
従業員数	連結 2,824名 単体 115名

役員

(2023年10月1日現在)

代表取締役会長兼社長CEO	今野 邦廣	取締役(監査等委員)(常勤)	成瀬 達一
代表取締役副社長COO	山口 秀哉	取締役(監査等委員)(常勤)	鈴木 俊幸
代表取締役副社長コーポレート管理CFO	朝香 友治	取締役(監査等委員)(社外)	手塚 仙夫
代表取締役専務	今野 宏晃	取締役(監査等委員)(社外)	戸川 清
		取締役(監査等委員)(社外)	伊達 玲子
		取締役(監査等委員)(社外)	笠野さち子

事業責任者

(2023年10月1日現在)

デバイス事業	山口 秀哉	システム機器事業	齊藤 扶実
EMS事業	白 永鉉	エネルギー事業	今野 宏晃
調達事業	中山 重美	新電力事業	小室 正則
電子機器事業	今野 宏晃	植物工場事業	今西 淳一

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当:毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.restargp.com/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の状況

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	30,072,643株
株主数	8,461名

※発行済株式の総数には自己株式4,636株が含まれております。

大株主の状況(上位10名)

(2023年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ケイエムエフ	6,026	20.04
株式会社エスグラントコーポレーション	2,897	9.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,467	8.20
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニーグループ003口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,234	7.43
株式会社三菱UFJ銀行	818	2.72
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニーグループ008口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	717	2.38
株式会社シティインデックスイレブンス	704	2.34
株式会社みずほ銀行	692	2.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	636	2.11
レスターホールディングス従業員持株会	628	2.09

※当社は自己株式4,636株を保有しております。
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

最新情報は当社Webサイトをご覧ください

当社Webサイトでは、当社をよりご理解いただけるよう、経営理念や事業内容に加え、IR、SDGs(ESG)や各種ニュースなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.restargp.com/>

レスターHD

検索



UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。